

還流

社団法人 加古川市シルバー人材センター
 〒675-0067 加古川市加古川町河原453-15
 TEL 079-421-1207(代)
 FAX 079-421-4141
http://www.kakogawa_sc.com/
 E-mail kakogawa_s.c@s.jc.ne.jp
 会員数 1,490人 男1,216人 女274人
 (3月1日現在)
 2011年 4月15日 発行 第54号

暮らしの小さな「困った」にシルバーパワーをご利用ください

お仕事で

- 倉庫・物品庫等の整理
- チラシ配布ポスティング

家の外周りで

- 波板の取替
- 簡単な大工仕事
- 棚板の取り付け
- ベランダの改造・補修
- 木塀造り
- ブロック積み
- 花壇作り
- 塗装

便利屋

- 刃研ぎ
- 水道パッキン取替
- 電球取替
- 火災報知器の取り付け

子守り・介助

- 通院介助
- 食事介助
- 食事の支度
- 子守り・育児のお手伝い
- 買い物

庭園・畑作業

- 植木の剪定
- 畑作業(畝づくり等)
- 農地・畦の草刈
- 植木の消毒
- 落葉拾い
- 雑草取り・草刈(機械刈りと手刈りがあります。)

文書作成や筆耕で

- パソコンでの原稿づくり
- パソコンの使い方指導
- (手書き)宛名書き・賞状書き

掃除や家事全般

- ガラス拭き
- 家具等の移動
- 犬の散歩
- 留守番・家事全般のお手伝い
- 居宅内外のお掃除(年末の大掃除等も引き受けます。)
- 水やり
- 洗たく
- 庭掃除
- お墓の掃除

家の内装で

- 床・天井の張替え
- 障子・襖・網戸の張替え

お気軽にお問合せください
 社団法人 加古川市シルバー人材センター TEL **421-1207**
 ホームページアドレス <http://www.kakogawa-sc.com/>

門扉横に設置された看板

巻頭言

つい先日、新年を迎えたばかりと思っていると、早くも4月の“花の季節”に入り、春夏秋冬、季節の移ろいが加齢とともに早く感じられる昨今です。4月はまた、学校の新学期や官庁・企業の会計年度の始まりの時期でもあります。昨年度は長引く不況下、消費の低迷、学生の就職難や失業率の高止まりに加え、政治と金の問題、沖縄の基地問題の行き詰まり等々、内政・外交両面にわたる閉塞感が世相を暗くしました。

ところで、経済面でやや明るい兆しが見え始め、新年度入りを期待していた矢先の3月11日に発生した未曾有の巨大地震(マグニチュード9.0の気象庁観測史上最大)と巨大津波が、東北・北関東の太平洋岸を襲い、死者行方不明合わせて万人単位の犠牲者と巨額の財産が喪失しました。亡くなられた方々に心から哀悼の意を表し、罹災された何十万人もの皆様にお見舞い申し上げます。職場や自宅を失くされた方々は今後苦難の生活を強いられることが予想されます。我々高齢者としても、物心両面で少しでも支援に協力できればと願うばかりです。

小林 治夫

もくじ

巻頭言	1
第44回通常総会	2
安全だより	3
ハマッています	4
雑感	5
活動写真展	6
孫と私	6
銀友会	7
雑詠 / 頭の体操	8

第44回通常総会開催

事業計画等を承認

社団法人加古川市シルバー人材センターの第44回通常総会が去る3月30日(水)加古川市ウェルネスパーク音楽ホールにて開催されました。司会の開会宣言の後、東日本大震災で亡くなられた方々に黙祷を捧げ、川井理事長より、我が国歴史上最も甚大な災害について、被害にあわれた方々が一日でも早く回復されること、不幸にしてお亡くなりになられた方々の冥福を衷心よりお祈りする旨を伝えられました。また、当センター事業が平成22年度も昨年並みの事業実績を上げる見込みができましたことは、会員皆様の努力のたまものと感謝するとともに、引き続き健康で『共働・共助』の精神でご活躍されることを挨拶とされました。つづいて、ご臨席いただいた市長代理の副市長藤原様・加古川市議会議長神吉様のご祝辞と来賓紹介で、式典の部が終了しました。

引き続き、会員の伊藤和紀さんを議長に選任し議案の審議に入りました。議案審議では、議案第1号「平成21年度の補正予算(第2回)」、議案第2号「平成23年度事業計画及び収支予算(案)」、議案第3号「役員を選任について」、議案第4号「社団法人加古川市シルバー人材センターの公益法人への移行について」、議案第5号「理事長に対する権限委任について」等の審議が提案され全て原案どおり可決されました。

また、4月1日よりイオン加古川店(旧加古川サティ)2階において、東加古川連絡所『シルバーサロン絆』を開設いたします。お客様からの仕事の受付・事業啓発活動等、会員の皆様は報告書の提出・配分金明細書の受取等にご利用ください。

その後、スタウス隊による、会員参加型の交通安全教室が行われ、楽しく交通安全について、お話をしていただき、すべての日程を無事終了することができました。



新役員の方々は次のとおりです。敬称略。

役職名	名 前	役職名	名 前	役職名	名 前
理 事	川井 功一	理 事	小守 千里	理 事	藤原 崇
理 事	藤井 正	理 事	高松 正義	理 事	松浦 芳樹
理 事	上田 培夫	理 事	俵 ゆみ弥	理 事	本嶋 正義
理 事	加茂 保明	理 事	徳本 陽子	監 事	阿山 紀子
理 事	糀谷 正美	理 事	中野 洋子	監 事	上内 浩嗣

お知らせ

『シルバーサロン絆』 オープン

かねてより、加古川東部の方にはご不便をおかけしておりましたが、4月1日よりイオン加古川店（旧サティ加古川店）2階にシルバー人材センター連絡所をオープンする運びとなりました。お近くの会員さんは就業報告書の提出・配分金明細書の授受・仕事の相談等ご利用いただけます。また、お客様には仕事の受注・広報活動等いたします。名称も『シルバーサロン絆』と、親しみやすいものいたしました。



期間 平成23年4月1日～平成24年3月31日
営業時間 午前10時～午後8時

利用についてのお願い
「シルバーサロン絆」で配分金明細書の受け取りを希望される方は事前にセンターまでお申し出ください。

安全だより

“健康と安全＝自己管理”

日頃は、センターの運営ならびに安全・適正就業推進委員会の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

本年度も引き続きご協力をお願いいたします。

さて、昨年度の事故の発生状況は、途上の交通事故で死亡事故や長期入院に至る事故が発生し、センターにとって非常に残念な結果となりました。

会員の皆様におかれましては、日常の生活も含めて「健康と安全＝自己管理」の気持ちを再認識し、業務にお励みください。

さて、ここで安全・適正就業推進委員会が本年2月に実施した、安全就業パトロールの結果について報告します。

パトロール先は、A班 スポーツセンター清掃作業
剪定枝のチップ作業、B班 別府中学校植木剪定作業
自転車指導業務（加古川駅周辺）

各作業現場とも就業状況については、良好であり、例えば植木剪定作業では、安全防具（ヘルメット、

安全帯等）の着用が定着し、また、チップ化作業では、スキルをもった会員が、使用機械の適正なメンテナンスを行う等、日頃の会員の皆様の安全就業に対する意識が高いとの結果となりました。

一方で、ローテーション就業をしている仕事では、会員の体調不良等によりローテーションが長期に渡り維持できない時に負担が多いとの報告を受けました。

センターでは様々な状況を想定しながら仕事の段取りをしていますが、ご意見・ご要望等がある場合は、早めにセンター事務局に相談ください。

最後になりますが、安全で適正な就業を維持するためには、**正会員の皆様一人ひとりの自覚**なくして実効あるものとなりません。

シルバー人材センター事業の基本理念「自主・自立、共働・共助」と「健康と安全＝自己管理」を再認識いただき、この事業の適切な発展・拡充に更なるご協力をお願いいたします。

「事故ゼロ」運動

本年度も引き続き、兵シ協と連携して「事故ゼロ」運動に積極的に取り組むとともに、「安全就業パトロール」を強化し、事故の防止に努めます。

「接遇講習」

「接遇講習」については、毎月第3木曜日（午前10時～11時30分）にセンター2F会議室にて実施いたします。特に、管理分野の希望会員、管理分野で就業中の会員は早めに受講ください!!

シリーズ ハマッています リサイクル



西村 明

好評だった、シリーズ「私の業務日誌」を3年程、掲載しましたが、今年の1月号をもって終わりたいと思います。また皆さんからは沢山の投稿と愛読をしていただきましてありがとうございました。

さて、次の新シリーズとして「ハマっています〇〇〇〇」を企画しました。会員さん一人ひとりが、いろいろな趣味。例えば、グラウンドゴルフ、社交ダンス、カラオケ、囲碁、将棋、旅行、和裁、等々を持っておられると思います。それ以外にも「私はこんなことをしています……」と、面白いものや貴重な体験話など、どんな事でもけっこうですから会員の皆さんに紹介してください。

1回目として、西村明さんが「リサイクルで物を作ることに凝っています……」とお便りを

いただきました。それは、不用品となった自転車の主軸部を再利用して見事な出来上がりの剪定バサミ = 写真 = でした。剪定バサミは見栄えこそ少々見劣りしますが、市販のものより使いやすく、丈夫で切れ味抜群のすばらしいハサミでした。

そのほかはインタビュー形式で西村さんに次のようなことを聞いてみました。



- Q** この剪定バサミを作って一番苦労したことは何でしたか。
特に苦労はありませんでしたが、強いていえば廃材がなく、部品をどうして調達するか？ですネ。
- Q** いつごろから作っていましたか。
現役時代からいろいろな物を作るのが好きでした。
- Q** このほかにどのような物を作りましたか。
大きな物では廃材になった自転車3台分を分解して1台を完成したことやテレビ、水道管、トイレの修理などもしました。その他、現役時代、職場で溶接棒の切れ端を集めて、てんぷら鍋用の油きり器を作り、同僚らにプレゼントをして、喜ばれたこともありました。
- Q** 今後の計画は？
計画的ではなく、その時、頭に思い浮かんだ物を今後も作っていきたいと思います。

西村さんは最後に「リサイクルで物が完成した時、ヤッター！ この瞬間、私は生きがいを感じます」と締めくくられた。

雑感 第二の人生 四国遍路を行く

津田 法

四国遍路はすでに御承知のこと、八十八ヶ寺を順次参拝して歩くことです。定年後私は第二の人生の一環として、巡礼への第一歩を踏み出す決意をし、現在に至っております。私がここまで信仰に篤くなった理由として、過去の父親の存在が大きくもたらしています。父はすこぶる信仰心が篤く、私が物心付いた頃には、不動明王や弘法大師を信仰し、病気や災難に打ち勝つための助力、即ち加持祈祷（かじきとつ 仏力の加護を祈り病気災難を除くこと）師をしておりました。

いわゆる信じる者は救われ、信じなき者は救い難し、と言った信仰の真心が自分の心に生きづいていたのでしょうか。そして私には名前を「法」ノリと命名しました。弘法大師の命日と私の誕生日が同じ21日であったことからその一字をいただきました。勿論、後継者としての意思を何回か聞かされました。

いよいよ定年後、本格的な修行に入りました。同じ頃に、ある友人の斡旋により、シルバー人材センターの会員となりました。暫くして仕事を頂き修行のほうにもより力が入りました。懐中のゆとりがあればこそその現在です。

世が世であれば、父親が行った托鉢をしながら、四国八十八ヶ寺を巡礼したかも知れません。

弘法大師を開祖とする真言宗のお題目は、「南無大師遍照金剛」をときえとなえ帰依（信じ、その教えに従います）します。大師を信仰するに当たりその神髓に迫るには、「行」がかかせません。心身を鍛えることです。私が体験した「行」です。

- 1) 滝行...毎月28日（不動明王の縁日）10年間（75才まで）
- 2) 断食... 3日間
- 3) 塩分抜きのお食事... 1ヶ月間

4) 読経...夜中に般若心経百巻（約2時間）21日間

5) 水行...大寒に1週間

6) 禁酒... 1ヵ月

平成22年4月、予てよりぜひ行ってみたいと念願の霊場、国内3霊場の一つとも言われる第七十三番目の出釈迦寺でしゃかじの霊場「捨身ヶ嶽しゅしんがだけ」に登り、弘法大師の出家の原点でもある此の場所に、自分がいることに深い感銘を受けました。

ここ捨身ヶ嶽は、弘法大師が私たちを助け導く決意をし、厳しいご修行をされた霊地でもあります。切り立った崖をよじ登るがごとく、風のある日は荷物が吹き飛ばされるから、素手にて登るよにとの説明がありました。無理して登るなといわれたが、女性も登っているのを見て、年はとつても俺は男だ、と強風の中無事登り終えました。そして心地よい汗をかきました。

以上、弘法大師の偉大な遺跡いにしえの道は、私にとつても又皆様にとつても、無病息災家内安泰の願かないを適えてくださるでしょう。



前列左端が筆者津田さん



活動写真展



誰でも参加出来る収集ボランティア
大勢の方の参加をいただき、ありがとうございます。今後も続けてまいりますのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



チップ作業
完成が楽しみ



視察研修
亀岡市シルバー人材センターへ
加古川でも出来るね



絵画展パネル設置
描く事は自分を表現する

孫と私



安田 たくみ 拓史 やよひさん ななみ はると 陽翔



越生 信義

第7回レクリエーション大会

銀友会会長 田中 孝雄



銀友会恒例のレクリエーション(グラウンドゴルフ大会)が3月19日(土)日岡山グラウンドにて大勢の参加者で開催されました。

開会に先立ち東日本大震災で亡くなられた方のご冥福を祈り1分間の黙とうを捧げました。今回はA B Cコース、24ホールに1組7名168名が一斉にスタートする、超過密の大会でしたが、参加者一人ひとりのエチケット・マナーのよさと、各組のリーダーの努力で予定より早く進

行し、2ラウンドを終了しました。スコア集計の間、全員でグラウンド周辺の清掃の後、早めの昼食、午後は12時30分より表彰式ならびにビンゴゲームを行い、賞品を手に三々五々帰途につきました。参加者の皆様お疲れ様でした。グラウンドゴルフ同好会の皆様ご協力ありがとうございました。

尚、当日お願いしました東日本大震災義援金募金(24,610円)は3月31日神戸新聞東播支社に寄託しました。

グラウンドゴルフ大会結果

敬称略

順位	名前	
優勝	黒木 豊	34
準優勝	池田 十藏	35
3位	須原 宗二	35
4位	島 勲	36
5位	阿曾 信之	37
BB賞	舩江 百合子	76
ホールインワン賞	新井 留男	

同好会のご案内

有機・減農薬研究クラブ

代表者 藤本 昭次
電話番号 079-422-4897

当クラブは化学肥料を少なくし、出来るだけ有機質の肥料を使用して、尚農薬の使用を減少させる農法で身体に安心安全の野菜を作る事をモットーに菜園作りを行うクラブです。

皆様も関心の有る方はシルバー事務局迄御問い合わせ下さい。一緒に活動しませんか。

サロン 囲碁・将棋クラブ

代表者 好田 隆
電話番号 080-6196-7281

初心者・腕自慢大歓迎! お気軽にどうぞ!!
毎日正午～午後6時
JAビル3階(加古川産業会館)
利用料・会費500円(1人1日)
入会金:1,000円

カラオケ同好会“心”

代表者 平木 省三
電話番号 079-428-2371

会場:東加古川ポンポコ・カラオケ店
毎月第2・4土曜午後1時30分～4時30分(3時間)
講師:藤井龍光先生
皆さんの参加を待っています。

歩こう会

代表者 田中 孝雄
電話番号 079-423-2317

月一回例会・第二火曜日。自然を求めて歩きませんか。

グラウンドゴルフ

代表者 川添 明行
電話番号 079-438-5110

毎月第一・第三月曜日にプレーしています。
入会金 500円 会費1年分 1,000円

タンポポ(手芸)

代表者 大亀 朝子
電話番号 079-421-2024

毎週月曜日(13:30～16:00)に楽しくやっています。
みなさん一緒にしてください。お願いします。

旅行同好会

代表者 上田 培夫
電話番号 079-438-5186

職域を超えて春と秋(泊り)小旅行を計画します。

両荘PC倶楽部

代表者 川 隆文
電話番号 078-943-0349

会員募集しています!!
“楽しく、のんびり、ゆったり学びましょう”

各同好会共皆様の参加をお待ちしております。

カワセミと遭遇

菅野 省吾

水ぬるみ新緑の息吹きそこかしこ

小鳥の声まだ澄みやらずチツチツ

その中ポシャンと軽くスピードのある水音

小さな池に小さな輪が広がった

その主は素早く反転し枯れ木に止まった

何と原色に近いカラフルな小鳥カワセミだ

名こそ知れ初めてみる珍鳥でもあった

まさかこの場所に……まさかカワセミが……

ここ日岡山公園入口の溜め池なり

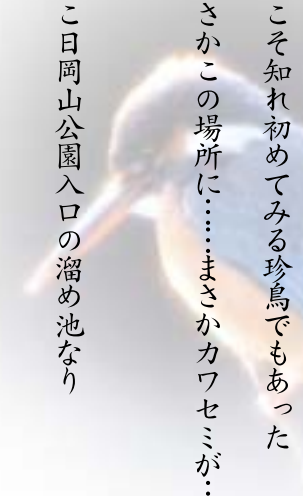
体に似合わない黒い長いくちばし

小魚をくわえ空を見上げるポーズは

そのくちばしがあつての勝利宣言だ

小さな池に小さな輪が広がれば

そこは自然の掬もぎ小さな闘争がある



頭の体操

2文字の漢字がバラバラになっています。組み合わせると何と言う漢字になるでしょう。

(例) 木@木@木@木@木 答え 森林

@少 米 石 唐
 @シ リ 発 束
 @月 日 又 皿 ナ
 @古 土 又 口 臣
 @心 心 ノ 糸 今 県

全問正解者のなかからQP名の方に素敵なプレゼントをお送りいたします。✂切り T月SP日必着

「還流」第53号 頭の体操 答え

- 1 .いんげんまめ
- 2 .いちじく
- 3 .ししゃも
- 4 .ひじき
- 5 .マヨネーズ

抽選で滝寿美さま他9名の方に記念品をお送りしました

会員さんの声

今回の頭の体操④⑤で苦勞しました。いつも問題を作られる方、大変だなと思います。楽しみにしています。

お知らせ

平成23年度配分金支払日

作業した月	振込みの日
H23年 4月分	H23年 5月19日
5月分	6月15日
6月分	7月15日
7月分	8月15日

配分金の明細書は、郵送しておりません。一時的に事務所でお預かりしておりますが、内容確認のためにも、必ず3ヵ月以内に取りに来てください。配分金支払の基礎は、会員の皆様が提出される就業報告です。就業された方は、必ず作業終了後直ちに就業報告書を事務所まで提出してください。

平成23年度入会説明会・入会受付日予定表

入会説明会 13:30~	入会受付・面接日 13:30/14:30
4月13日(水)	4月20日(水)
5月11日(水)	5月18日(水)
6月 8日(水)	6月15日(水)

予定は変更になることもありますので、あらかじめご確認下さい。

入会説明会の有効期間については、6ヵ月間とします。加古川市内にお住まいの60歳以上で「健康で働く意欲」のある方募集中

特に女性の方の入会を歓迎します。

編集後記

今月号に記載された四国八十八ヶ所遍路の旅、それに挑戦される人々の側面を知ることが出来ました。「行」を克服してこそ教えが浸透してくるものだと感じました。

そこで「いま生きる第二の人生」、その一つに「趣味」があり、短期或いは長期に渡って抱かれてお

られるでしょう。次回7月号には、その趣味の一端をご披露させていただこうと思っております。中には…趣味が高じて何とやら…と言う実例もありました。惜しみ無く情報をお寄せ下さい。お待ちしております。

編集委員